

## 発掘成果をふりかえって 1993

<http://www.kyoto-arc.or.jp>

(財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館



1 慈照寺<sup>じしょうじ</sup>（銀閣寺）左京区銀閣寺町

寺域の北方で発見された東山殿創建当時（15世紀末）の石垣と溝。慈照寺は足利義政創建の東山殿の後身（西から）。

いよいよ建都 1200 年を迎え、また、来世紀を間近にひかえた京都は新たな出発点に立ったといえます。

こうしたなかで 1993 年にも京都市内では平安京をはじめとして、多くの遺跡を調査し、各時期のさまざまな遺構や遺物を発見しました。それらの資料は膨大な量におよび、まさに 1200 年の都としての重みを感じさせます。

今回ここに紹介できたのは、こうした成果の一部ですが、いずれも京都という一都市ではなく、日本の歴史にそのまま係るような発見です。みなさんもその一端にふれてみてください。そして、今後の調査にも御期待ください。



2 水垂遺跡<sup>みづたれ</sup> 伏見区淀水垂町・樋爪町

河川に囲まれた集落跡。竪穴住居や掘立柱建物が河川のごく近くまでつくられている（北から）。



**3 平安京左京四条一坊** 中京区壬生朱雀町（朱雀第一小学校）

平安時代前期の園池。汀には小石を敷いた洲浜がつくられている。写真右奥の建物の位置が朱雀大路にあたる（東から）。



**4 安祥寺下寺跡** 山科区安朱中小路町

JR 山科駅前で平安時代前期の木炭木槨墓を発見した（西から）。



**5 平安京左京四条四坊** 中京区高倉通六角下る和久屋町（高倉小学校）

グラウンドの下から室町時代の下京の町並を発見した。たくさんの柱穴から建物が建ち並んでいたのがわかる（北から）。



**6 慈照寺（銀閣寺）** 左京区銀閣寺町

花崗岩の切石を組み合わせた導水施設。石には2本の溝がある（西から）。



**7 松ヶ崎廃寺** 左京区松ヶ崎堀町（松ヶ崎小学校）

松ヶ崎林山のおもとで天文法華の乱（1536）によって焼失した妙泉寺の石垣を発見した（南東から）。



調査地点